

11月29日（金）午後2時より 市岡高校にて開催

JR 環状線・大阪メトロ「弁天町」駅より 東口から 東南東へ約 400m ★お願い 名札と上履きをご持参ください。

教材	進路保障	ケーススタディ
<p>共に考え、共に学ぶ ～「共生推進教室生の部活動での取り組み」と「事例から学ぶ教職員研修」～</p>	<p>進路保障のあり方③ ～人権のふるさと 水平社博物館～</p>	<p>自立支援コースからの発信 ～自立支援コース生たちの 気持ちを創作劇で表現～</p>
<p>障がいのある仲間と共に学び、共に育つ、そんな関係を部活動でもつくり上げている学校があります。今回は府立枚岡樟風高校より、共生推進教室の生徒も在籍する軽音楽部で、時にぶつかりながらも共に育っていく部員たちの様子をご報告いただきます。</p> <p>また、教職員人権研修を実りあるものにするために、頭を悩ませている方も多いのではないのでしょうか。府立柴島高校では、学校で起こりえるケースをいくつか設定し、グループで考えるケーススタディ型教職員研修を実施され、活発な意見交流が出来たそうです。今回は、参加者の皆さんにも体験していただきながら、お話を伺いたいと思います。</p> <p>教職員人権研修交流会！</p> <p>大好評の人権教材持ち寄り交流会。今回は教職員人権研修に関する教材を募集します。これまでに参加した教職員研修の資料をぜひお持ちください。他の人権学習教材やこれ使えるかも？ というような「新聞記事」「ドラマ」「マンガ」等の素材の紹介も大歓迎です。</p> <p>※印刷して 40 部お持ち寄りください。</p>	<p>「人の世に熱あれ、人間に光あれ」1922年、部落差別の撤廃を願い、人間の尊厳と平等を求め、御所市の青年たちが中心となり、水平社は結成されました。その水平社運動の歴史と、差別と闘い、道を切り拓いた先人たちの軌跡、遺志を伝えることを目的として、1998年に水平社博物館は開館しました。</p> <p>今回、進路保障部会では、水平社博物館館長の駒井忠之さんより、「光と熱を求めて -水平社創立の思想に学ぶ-」と題し、ご講演いただきます。全国水平社創立にいたる経緯、全国水平社宣言の内容、部落差別の現状と差別解消の展望、そして近年の博物館事情等をうかがいたいと思います。</p> <p>その後、奈良県御所市立掖上(わきがみ)小学校より、人権を基盤とした日々の教育活動とのあゆみをご報告いただきます。</p> <p>今一度、同和教育の総和である「進路保障」の意義を再確認する機会とします。</p> <p>年末へ向け、お忙しいことと存じますが、この機会に是非、いらしてください。お待ちしております。</p>	<p>今回のケーススタディ部会では、府立高校の自立支援コース生たちの取り組みについてご報告いただきます。府立堺東高校の自立支援コース生は、学校説明会や対面式などで、発表を行ってきました。その内容は、学校の紹介や「障がい者だけど、こんなことを頑張っています！」や「こんなことができました！」というものでした。昨年度、コース生自身から、次の発表では、自分たちのことを語る劇をつくりたいと提案がありました。そこで、これまで盛り込めなかった生徒たちの生活や当事者の思いを表現する創作劇を「ともにいきる障がい者展 (in ビッグアイ)」で、全員 (3 学年) で演じようということになりました。</p> <p>自立支援コース生たちが自ら障がいについて語るだけでなく、自分たちの学校生活での出来事、療育手帳や障がいについての考え方、その他日々の思いを伝えることで、劇を通して変化していく様子を報告していただきます。</p> <p>参加者のみなさんに、自立支援コース生たちの思いを知っていただけたらと思います。奮ってご参加ください！</p>

